

西条維持出張所管内の事故発生マップ

集計時期:H28.1月～現在



No.	損傷年月日	天候	損傷時刻	事故内容	号線	上下	Kp	場所
①	H28.1.14		7:55	広島方面への走行中、運転操作ミス。	2号	下	292k490	竹原市田万里町 田万里トンネル手前
②	H28.2.14		14:05	三原方面に走行中、運転操作ミス。	2号	中	295k700	東広島市西条町上三永 下三永東信号付近
③	H28.3.15		5:45	三原方面に走行中、運転操作ミス。	2号	上	309k650	東広島市八本松西六丁目 宗吉バス停付近
④	H28.3.22		9:15	三原方面に走行中、運転操作ミス。	2号	中	294k470	東広島市西条町上三永 仁賣口交差点付近
⑤	H28.3.30		2:00	三原方面に走行中、運転操作ミス。 (居眠り)	2号	上	281k920	竹原市新庄町 三原市～竹原市境付近
⑥	H28.3.25		9:50	広島方面に走行中、運転操作ミス。	2号	下	297k790	東広島市西条町下三永 主要地方道安芸津下三永橋交差点付近
⑦	H28.4.5		7:18	広島方面に走行中、運転操作ミス。	2号	下	295k500	東広島市西条町上三永 下三永東信号付近
⑧	H28.4.7	雨	AM	歩道部に乗り上げガードレール破損。	2号	上	312k540	広島市安芸区上瀬野町 石仏橋付近
⑨	H28.4.11			ガードレール破損	2号	上	309k220	東広島市八本松町 宗吉東バス停付近

2号

東呉道

No.	損傷年月日	天候	損傷時刻	事故内容	上下	Kp	場所
1	H28.1.16	雨	0:45	藤原インターオンランプ走行中、路面が濡れていたためスリップしてC-260の分岐のGに急突。	ランプ260m	8k540	藤原インターチェンジ オフランプ
2	H28.1.26		8:45	上三永ICを呉方面に走行中、運転操作ミス。	A220上	28k330	上三永インターチェンジ オンランプ
3	H28.3.17		16:50	東広島方面に走行中、運転操作ミス。	下	5k780	二級峠付近
4	H28.3.29		10:10	呉方面に走行中、左側ガードレールに接触し、本線(センターラック)上に停車。(単独事故)	上	24k000	下三永高架橋付近
5	H28.4.1	雨	7:40	2台による衝突。	中	4k200	岡山トンネル～広島内トンネルの間
6	H28.4.7	雨	6:15	東広島方面に走行中、運転操作ミス。 (脇撃による側壁衝突)	下	3k200	岡山トンネル内
7	H28.4.7	雨	13:30	上三永ICオンランプ走行中、スリップし側壁に接触後、ハンドルをきりすぎ中央分離帯に乗り上げ、オフランプの側壁に当たり自発後停車。	上三永IC(E460)	27k900	上三永インターチェンジ オンランプ
8	H28.4.7	雨	10:30	上三永ICオンランプにて右後輪のパンクによりホイールロックとなり、その後ハンドルを切らずに脱輪に陥る。	上三永IC(A220)	27k900	上三永インターチェンジ オンランプ
9	H28.4.11		13:30	馬木オンランプ走行中、コンクリート法面に乗り上げた約10M走行。照明柱に衝突後、横転して停止。	馬木IC(E420)	20k500	馬木インターチェンジ オフランプ
10	H28.4.12		7:55	ハンドル操作を誤り、側溝へ前後輪脱輪したまま走行。側溝側に沿って車体倒壊。その弾みで進行方向反対向きで路肩に停車。	馬木IC(E100)	12k340	黒瀬インターチェンジ オンランプ
11	H28.4.29		13:14	17kmの非常駐車帯標識が見えたため、ハンドルを早く切りすぎた。側溝を飛び越え法面下の張りコンで停止。	下	16k970	大多田インターチェンジ(広島県) 付近
12	H28.5.1		14:20	エコロックに乗り上げハンドルを左に切りすぎ、法面に乗り上げ下に落ち停車。	下	19k000	宗近高架橋付近

【事故の傾向】

- 要因: スピード超過
- 天候: 雨天時

- 場所: インター部などカーブが大きい箇所
- 時間帯: 深夜～午前中

◆安全走行のポイント◆



スピードのコントロール

- ・雨天時に走行する場合や、生活道路、通学路を走行する時などは、状況に応じて十分にスピードを落とす必要があります。
- ・高速道路や夜間の走行時はスピードを遅く感じやすいため、スピードメーターでチェックするなど、スピードの出し過ぎに気を付けましょう。
- ・カーブでは、手前で十分に減速をしましょう。カーブの途中でのブレーキはスリップの原因となり、対向車線へのはみ出し・ガードレールへの衝突などの危険があります。

梅雨に向けて

雨天時のスリップ事故に注意！

走行速度が高い状況では hidroplaning 現象が起こりやすくなっています。

hidroplaning 現象

水のたまった道路を高速で走行していると、タイヤと路面との間に水の膜ができ、タイヤが水の上を滑走する現象。

この状態では…

- ・ステアリング操作不能
- ・ブレーキが効かない



ノーマルタイヤで80km/h以上、スタッドレスタイヤで60km/h以上の走行時に発生しやすくなると言われています。

国交省では、交通安全上の問題要因排除の一つとして、道路面上から速やかに雨水を排除する舗装『排水性舗装』を実施している区間があります。

〈〈お問い合わせ先〉〉

西条維持出張所

☎739-0021

東広島市西条町助実1840

☎082-423-4204

fax082-423-6645